



発達障がい者との創作でのワークショップ © PlanQ Project

## セゾン・アーティスト・イン・レジデンス ヴィジティング・フェローによるトーク

# 社会におけるプロセスとしてのアートの可能性—韓国と日本のリサーチから考察する

2023年2月11日(土) 13:00-14:30 / 森下スタジオ(江東区森下 3-5-6)

韓国を拠点にインディペンデント・プロデューサーとして活動するコ・ジュヨン氏によるトーク。

「演劇とは何か、この時代、社会において、演劇、あるいは芸術の役割は何であるべきか」という問いのもと、障がいを持つ人、セクシュアル・マイノリティー、被災者、難民など、いわゆるソーシャル・マイノリティの人々とアートの間での活動に関する韓国でのリサーチをもとに事例を紹介します。また、日本で同様の社会とアートの間で活動をしている人々に関するリサーチを振り返り、今後の国際的な連帯の可能性を議論する予定です。

■ 申込方法: 以下の Google フォームからお申し込みください。(定員 20 名)

Google Form: <https://forms.gle/5qN7NpVakcyxquC36>

■ 滞在内容やプロフィール: 以下のリンクをご参照ください。

[https://www.saison.or.jp/vf2022\\_Jooyoung\\_intro](https://www.saison.or.jp/vf2022_Jooyoung_intro)

■ 森下スタジオへのアクセス

地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6 出口 徒歩 5 分

東京外口半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2 出口 徒歩 10 分



## コ・ジュヨン / Koh Jooyoung (韓国)

2006 年から 2012 年まで韓国芸術経営支援センター Korea Arts Management Service (KAMS) に勤務。その後はインディペンデント・プロデューサーとして韓国と日本のアーティストと数多くのプロジェクトを手掛けている。

今語られるべきテーマや舞台芸術ならではの作品形式や創作方法にこだわり、劇場公演だけでなく、オルタナティブ・スペースや屋外空間、環境、コンテキストを活かすサイト・スペシフィックなプロジェクトや作品を企画、プロデュースする。

2011 年度ヴィジティング・フェロー。2016 年から 2020 年まで TPAM プログラム・ディレクター。